



飛鶴の森林から

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り込む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

各地の小中学校で森林教室を開催

厚岸町立高知小学校

10月6日(水)、4年生から6年生の児童4名、教員3名が総合的な学習の時間を利用して国有林「パイロットフォレスト」で森林学習を行いました。高知小学校はパイロットフォレストの東側入口から車で5分程度の所にある学校です。学校のグラウンドの横に大きな池や学校林があり、豊かな自然環境に囲まれています。

森林学習の内容は、湿原展望台から別寒辺牛湿原展望、パイロットフォレストに生息する動物たち、間伐を行う理由と間伐体験、カミネッコンを利用した苗木の移植体験、望楼からパイロットフォレス

ト全域を展望、パイロットフォレスト造成当時活躍した林業機械の見学、でした。

児童たちは、身近な所に広大な森林や湿原が広がり、森林には様々な動物が住み、森林を作る仕事や育てる仕事があることを感じたのではないのでしょうか。



間伐体験



カミネッコン作り

釧路町立昆布森小学校

10月22日(金)、1年生、2年生の児童10名が、生活科学学習の一環として、森林から集めてきた木の実や小枝を使い、思い思いの作品作りを行いました。

当センターでは、作品制作と安全な道具の使い方について指導を行いました。

児童たちは、小枝をカッターや小さなノコギリで切ったり、ドングリにキリやミニドリルで穴を



開けたり、小枝や木の実・木の葉をホットボンドで接着したりして思い思いの作品を作り上げました。

ホットボンドがかたまらないうちに触り、「熱い!」と叫びながら作った作品は、奇妙な昆虫やアリ、女の子らしいリースの飾りやお菓子のケーキなど、創造性豊かな作品ばかりでした。

作品作りの様子

仲良くリース作り



標茶町立中茶安別小中学校 「秋の学校林活動」

10月26日(火)、学校林「るんるんフォレスト」で今年最後の活動が行われました。今回は、小学生と中学生合計30名が2班に分かれて、樹木への冬囲いの取付と今年度新たに作設した遊歩道への巣箱・樹名板設置を行いました。



冬囲い (ネズミ食害防止ガードの取付け)

冬囲いの取付けでは、1年間の学校林活動でお世話になった、リンゴ、ナツグミ、オニグルミの木の根元に、ペットボトルで作成したネズミの食害防止ガードを巻きつけたり、雪の重みで木が折れないように支柱たてを行いました。



カラフルな樹名板の取付け

新遊歩道への巣箱・樹名板の設置では、中学生が巣箱を設置し、小学生らが木の名前をアオやピンクのペンキで書いたカラフルな樹名板を目立つように木に取付け、樹木観察を行

いました。

同校の児童・生徒は、春・夏・秋の観察結果を取りまとめ、活動の足跡として「るんフォレスト図鑑」を作成することになっています。

遊歩道の近くに巣箱を設置



森林ボランティアによる植樹

10月16日(土) 標茶町雷別国有林(雷別自然再生事業地)に於いて、ファイザー(株)釧路営業所の皆さん10名が参加して、ミズナラ・ハルニレ・ヤチダモ・イタヤカエデ・シラカンバの広葉樹苗400本(各80本)の植樹を行いました。

参加者の皆さんは、これまでも色々なボランティア活動を経験されていますが、山での植樹の体験は初めてとのことでした。足場の悪い傾斜地で額に汗を



傾斜地での植樹作業

一杯に浮かべ、苦労しながら午前中の植樹作業を無事に終了しました。また、作業の行き帰りには、秋の味覚のキノコ(ポリポリ)も収穫しました。午後からは、自然再生事業の学習と遊歩道を利用してミニ森林浴を楽しみました。森林浴では、午前中



作業後の記念撮影

に植えたハルニレやヤチダモの広葉樹の苗木が大きくなるまでに何十年もかかるお話をしながら広葉樹の森を歩きました。

今回、参加された皆さんは、山作りの大変さと森林の楽しみ方の両方を体験できたことと思います。

10月21日(木) 標茶町雷別国有林(雷別自然再生事業地)に於いて、おはこ会会員14名が参加して、ミズナラ・ハルニレ・ヤチダモ・イタヤカエデ・シラカンバの広葉樹苗400本(各80本)の植樹を行いました。

おはこ会の皆さんには、これまでも国有林を利用して森林浴などを楽しんでまいりましたが、今回初めて植樹を行いました。山での植樹の体験は初めてとのことでした。足場の悪い傾斜地で額に汗を一杯に浮かべ、苦労しながら午前中の植樹作業を無事に終了しました。



傾斜地での植樹作業

午後からは、自然再生事業の学習と遊歩道を利用してミニ森林浴を楽しみました。森林浴では、午前中に植えたミズナラやイタヤカエデの広葉樹の苗木が大きくなるまでに何十年もかかるお話をしながら広葉樹の森を歩きました。



作業後の記念撮影

今回、参加された皆さんは、山作りの大変さと森林の楽しみ方の両方を体験できたことと思います。

釧路市こども遊学館【木工教室】

10月24日(日) 釧路市こども遊学館と連携し「木に親しもう木工教室 親子で木トンボづくり」を開催しました。こども遊学館が参加者を募集し、親子6組、12名の参加がありました。木とんぼの材料は、木とんぼキット「ひのき」を利用し、木トンボ作りに親子が奮闘しました。

今回は、刃物の使用を体験するねらいもあり、使用道具はカッターナイフと棒ヤスリを準備して行いました。作り方は、カッターナイフで少しずつ木を削って行き、ヤスリで仕上げてつばさの形にする方法で行いました。

子供達は、親の助けを借りながらカッターナイフで少しずつ削り「木トンボ」を作り上げていました。厚いつばさや少し薄めのつばさなど色々な形の木トンボが出来上がりました。

最後に、作った木トンボを飛ばし、飛び具合を観察して、木トンボ作りを終りました。



カッターナイフで削る親子



ちゃんと飛んだかなあ

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp